

ひがなかの子

令和 5年 6月13日発行 第 4号 文責 門田



☆一人ひとりが輝き成長する運動会 ～運動会特集号～



二日間降り続いた雨の影響で、開催が心配された5月20日(土)運動会でしたが、当日は、予定のプログラム通り開催することができました。

保護者の皆様には、早朝のテント設営やPTA種目(「大玉転がし」)への参加、大会後の片付け(皆さんの本当に手際の良いご協力で、子どもたちを早めに帰宅させることができました)、更には、平地PTA会長さんには閉会の挨拶の折、子どもたちの頑張りへのお褒めの言葉と共に、職員へ慰労のお言葉もいただくなど、皆様のおかげをもちまして、盛会のうちに無事終わることができました。ありがとうございました。



さて、秋から春に移行して(市内では本校の他、中村南・具同小の3校)初めての運動会でしたが、子どもたちは、強い陽射しが降り注ぐ中、児童会の掲げた本年度のテーマ「協力して 楽しい運動会にしよう!」～やる気・元気・根気～のもと、連休明けのわずか、2週間ほどの間に各学年の種目練習に加え、一輪車や応援は、昼休みや放課後も使い練習を重ね、当日は、どの演技や競技でもテーマどおり、仲間と協力しながら、最後まで力の限り頑張る姿を、私たちに見せてくれました。

応援合戦では、応援団を中心に、赤も白も互いにエールを送りなが

ら、全員参加の見事な応援で、運動会を盛りあげてくれました。

既に、本校の定番であり伝統となった可愛らしさと、リズムカルな動きが、とても愛らしかった1・2・3年生の表現運動、ダンス「やってみよう」

勇ましい太鼓の音とかけ声がグラウンドに響き、大漁旗と共に躍動感あふれる舞を見せた4・5・6年生の「ひがなかソーラン」

更に、4年生以上の希望者から、今年度より3年生以上全員参加に変更した「一輪車パレード」は、技が決まる毎に大きな拍手をいただく中、「かざぐるま」など個人技だけでなく皆の心が一つになってこそ生まれる集団美には、素晴らしいものがありました。毎日練習を重ねてきた子どもたちのこれまでの努力が、報われた瞬間でもありました。

本校は、学年が一緒になって行う競技・演技がとても多く、何通りもの並び方、やり方を覚えなくてはなりません。それを本番での成功へと導いたのは、高学年の確かなリーダーシップであり、その「やる気」に懸命に応えた、低学年、特に1年生の頑張りには、「よくやった」と大きな拍手を送りたいと思います。

又、感心するのは種目だけでなく応援団や開閉会式の挨拶、





宣誓、放送等の各係の仕事を複数かけ持ち、なおかつ学年の準備、後片付けと一人何役もの分担をこなしました。限られた時間の中で、テキパキと活躍した行動力も見事でした。



1年生から6年生まで、どの演技や競技にも最後まで、あきらめずやりきる姿、児童席や係の席で、仲間を応援する姿、休む間もなく係の仕事を責任を持って果たす姿など、そこには、子どもたちの光り輝く姿、成長した姿がありました。これまでの練習を振り返りながら、私たち教職員も心揺さぶられ、胸が熱くなるものがありました。

練習や準備期間も含め、子どもたちの熱い思いや一所懸命さがたくさん詰まった運動会。これからも、仲間と協力し、支え合っていくことの大切さを学ぶ様々な行事や活動があります。子どもたちが、この運動会で学んだこと、身につけた力は、必ず、これからの学校生活の中で、大きな自信となって生かされることと思います。

今後も、授業や各行事を通して、自分の持てる力を十分に発揮し、チャレンジしていく中で、一人ひとりの児童が心身共



ともにたくましく成長できるよう全教職員で務めてまいりますので、引き続き、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

○赤白両応援団長さんからの感謝のメッセージ



*運動会を振り返って、一ヶ月たない位だけど、みんなが、一生けん命に、応援の練習と体形の練習を暑い中、頑張っていました。途中から旗などを導入しても、それも、一生けん命に、場所を覚えて、文句も

言わずに、頑張ってくれて、赤組のみんなありがとう。負けたけど、それでもリレーなどの種目も頑張っていてありがとう。覚える時間がない中でも、練習に来てくれてありがとう。保護者や地域のみな様、温かい応援や見守りありがとうございました。

赤組応援団長 原 響輝

*ぼくは、6年最後の運動会だったけど、応援団長として、みんなを引っばれていたと思ったし、みんなやる気にあふれていて、嬉しかったです。今年は、白組も赤組も接戦でどちらが勝つか分からなかったけど、最後まで全力で取り組んで白組が勝つことができました。

ぼくは、はじめての応援団で、しかも団長だから心配だったけど、めあての通りに、協力して楽しい運動会になりました。

保護者や地域のみな様、応援ありがとうございました。

白組応援団長 宮崎 快成

団長さんの言葉にもあるように、閉会式の時、朝礼台からは、子どもたちのどの顔からも、一つのことをやりきった達成感や充実感に満ちた笑顔が見られました。子どもたちのみならず、ご参観いただいた全ての皆様にとってもいつまでも記憶に残る思い出の運動会となったのではないかと思います。来年も、本年度同様、園児の皆さんも含め、地域ぐるみで、楽しんでいただける運動会が開催できることを願っています。

